

(22) カリフラワー

(ア) 病害

病害虫名及び 防除時期	防除方法及び注意事項
軟腐病	耕種的防除 1. 抵抗性品種を栽培する。 薬剤防除 1. 茎葉散布

(イ) 害虫

病害虫名及び 防除時期	防除方法及び注意事項
コナガ  発生初期～	薬剤防除 1. 薬剤抵抗性情報（詳細は 261~277 ページ参照） (1) ピレスロイド系及びベンゾイル尿素系薬剤抵抗性個体群：道内で発生が確認されている。 (2) ジアミド系薬剤感受性低下個体群に対応した防除対策はキャベツの項（123 ページ）を参照。 2. 茎葉散布 (1) 初令幼虫は葉肉内に潜入、3～4 令幼虫と蛹の多くは葉裏に寄生しているので、散布むらがないように十分量を散布する。 (2) 同一系統薬剤の連用は薬剤抵抗性が発現しやすいので避ける。 (3) 飛来性害虫であり、年次・地域により抵抗性を示す薬剤の系統が異なるので、薬剤散布後の効果確認を行い、劣る場合は直ちに他系統の薬剤に切り替える。
アブラムシ類 (ニセダイコン アブラムシ)	薬剤防除 1. 茎葉散布

(ウ) クリーン農業技術（病害虫防除関係分）（カリフラワー）

○発生予測法の活用

・春まきキャベツのコナガ防除開始時期予測システム ver. 2 を応用した防除時期の決定

○物理的防除

・防虫ネットの利用による被害回避

○生物的防除

・生物農薬（非病原性エルビニア・カトロボウラ、B T 生菌）の利用

○耕種的防除

・軟腐病の発生しづらい品種（「バロック」、「NR-149」、「抱月」、「浜月 33」）の利用

- ・窒素肥料の適正化による軟腐病の軽減
- ・輪作や高畝栽培等の排水改善による土壌病害の回避

※栽培に当たっての留意事項

- 根こぶ病が発生したほ場では栽培を避けること。